

脱炭素社会の実現に向けて、目まぐるしく変化が起こる
今、事業会社のみならず、政府・研究機関・金融機関など
あらゆる主体による取り組みも不可欠である。それぞれの
組織が個々に取り組みを進めるだけでなく、分野・組織形態を超えた
一層の協力が必要となる中、各組織の現在地を再確認し、新たな協力
の形を模索する。

早稲田大学×日本証券業協会
共催SDGs シンポジウム

参加費無料

12/2

会場 250名 (先着順)

◆金

17:00-18:40



参加登録フォーム

ハイブリッド
形式

会場参加
オンライン

早稲田大学国際会議場
Zoom生配信

https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=0xhqPURLWsvXnbR03gV_pA

●会場内では、運営・メディア等の撮影・配信等を予定しておりますので、会場内のお客さまが映り込む場合があります。それらは、当日のインターネット配信、およびイベント終了後のアーカイブ配信等に掲載される場合がありますので、あらかじめご了承ください。●プログラムは変更になる可能性があります。●会場の参加者が定員を上回った場合には、オンライン参加となる場合がございますので、ご了承ください。

「研究」×「行政」×「経済」 の結末 脱炭素社会の 実現に向けて

プログラム

17:00	開会挨拶	岳野 万里夫	日本証券業協会 副会長・専務理事
17:05	基調講演	「研究」×「行政」×「経済」の結末 ～脱炭素社会の実現に向けて～	
17:30	休憩	有村 俊秀	早稲田大学政治経済学術院教授／環境経済・経営研究所所長
17:35	パネル ディスカッション	テーマ：「脱炭素社会に向けた取組みの現在地と未来」	
		モデレーター	
		有村 俊秀	早稲田大学政治経済学術院教授／環境経済・経営研究所所長
		パネリスト	
		森本 英香	早稲田大学法学学術院教授(元環境事務次官)
		鳥海 智絵 氏	野村證券 専務執行役員 野村ホールディングス コンテンツ・カンパニー長 兼サステナビリティ推進担当
		吉高 まり 氏	三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社 フェロー(サステナビリティ) 東京大学教養学部 客員教授
		西川 修平	早稲田大学 政治経済学部4年
		石田 俊一朗	早稲田大学 法学部4年

有村 俊秀

森本 英香

鳥海 智絵 氏

吉高 まり 氏

西川 修平

石田 俊一朗

18:25 質疑応答

18:35 閉会挨拶

須賀 晃一 早稲田大学 副総長

主催



早稲田大学



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

●本シンポジウムは、(独)環境再生保全機構の環境研究総合推進費「暗示的炭素価格を踏まえたカーボンプライシングの制度設計一効率性と地域経済間の公平性を旨して」(JPMEERF20202008)及びJSPS科研費JP21H04945の助成を受けています。